



仕事がデキる人がよく口にする「口癖」は

会社員として成功する人、例えば、同世代の中で早いスピードで昇格したり、会社の経営者として一定の実績を残す人には、共通の「口癖」があるようです。彼らは、目の前の状況を否定する事をせず、周囲の困難にぶつかる人をけなすこともなく、称える事が出来ます。今回は、彼らの口癖で、特に印象に残っているものを5つ挙げたい。これらを機会あるごとに、口にしてみると、きっと仕事に役立つヒントが見つかるはずだ。

1. 「すごいよね！」

成功するためには、敵を少なくしないとイケない。その為にはまず、相手を称えること。結果的にそれかいい形で跳ね返ってくることが多い。例えば、困った時にその人が助けてくれたりすることがあるから。また、相手を否定すれば悪い形で返される。『そんなことは大したことないね。誰でもできるはずさ』と言えば、当然相手にしてみればおもしろいはずがない。どこかのタイミングで仕返しをされることだってある。ビジネスでは味方を増やさないと、上手くいかない。『すごいよね…』『さすがだね…』などと言っていると、効果は早いうちに現れる。

2 「ありがとうございます」

同世代の中でいち早く昇格する人は、言葉遣いが概ね丁寧で、あいさつやお礼などタイミングよく伝える特徴があることに気づく。意外と当たり前のようだが、実はできていない人が多い。相手に感謝の意を伝えると、まずは自分の気持ちがよくなっていく。心を満たされるものになると、上司や周囲、取引先、お客さんへの接し方も変わる。いい仕事をしようと思うなら、心や意識のあり方を変えることが最優先。仕事の結果は、その後からついてくる。

職場で認められ、活躍する人は、必ずと言っていいほど、周囲と良好な関係を作っている。トラブルメーカーは、まずいないだろう。会社員は「組織人」である以上、良好な人間関係がないと、スピード感をもって仕事を次々消化していくことはできないもの。インフラを作るうえで、「ありがとうございます」といった感謝の言葉は、特に大切だ。多少スキルがあったとしても、そういったインフラを築いていなければ、成功は長くは続かない。

3. 「大丈夫ですよ」

大企業の社長を務めた方（引退した方を含む）と接していて感じるのは、前向きな思考をお持ちの方が多く、特にその傾向が強い人が多いということ。そして、相手の意見や考えにも「大丈夫だよ」「何とかなるよ」と、肯定的な言葉で返す。成功している人は、相手の気持ちや感情を凹ませないことが多いのだ。

会社員たるもの、上司をはじめ、周囲から認められない限り、決して浮かばれることはない。いかに味方を作って、チームで生産性を上げて、業績を拡大するかを考えて行動するかを念頭に置かなければ、成功することは難しい。そのためにも、同じ部署などにいる周囲の人を励ます力が必要になる。

4. 「●●しようか」

同世代の中でずば抜けて早く昇格していた上司口癖が、「●●しようか」だった。その上司は部下に「こうしろ！」とは決して言わなかった。「●●しようか」と呼びかけるのだ。ただし、部下と一緒にその仕事をするわけではなかった。部下の立場からすると、「●●しろ！」と言われるより、「●●しようか」と促されたほうが、はるかに気分よく、働くことができるだろう。上司からすると、命令することが大切なのではなく、いかにチームの業績を上げるかが大事なのだ。ならば、部下のモチベーションを上げていくことが重要になる。

5. 「よくなっていきますよ」

悲しいことがあった時、苦しい時タイミングを見計らって、「(いずれ、状況は) よくなっていきますよ」と言うようにしている。慰めではない。気休めでもない。こういう言葉をかけると、相手の心のあり方などが多少、よくなっていくように、接していて感じる人が多いからだ。そして、何らかの形で協力してくれるようになる。

前向きな言葉を使う目的は、自分自身の意識を高めることにある。意識を高めると、仕事への姿勢もよくなる。だからこそ、成功することができるのだ。いい「口癖」を発することで、意識や考え方、仕事や生きる姿勢が変わっていくものではないだろうか。

「@DIME より」